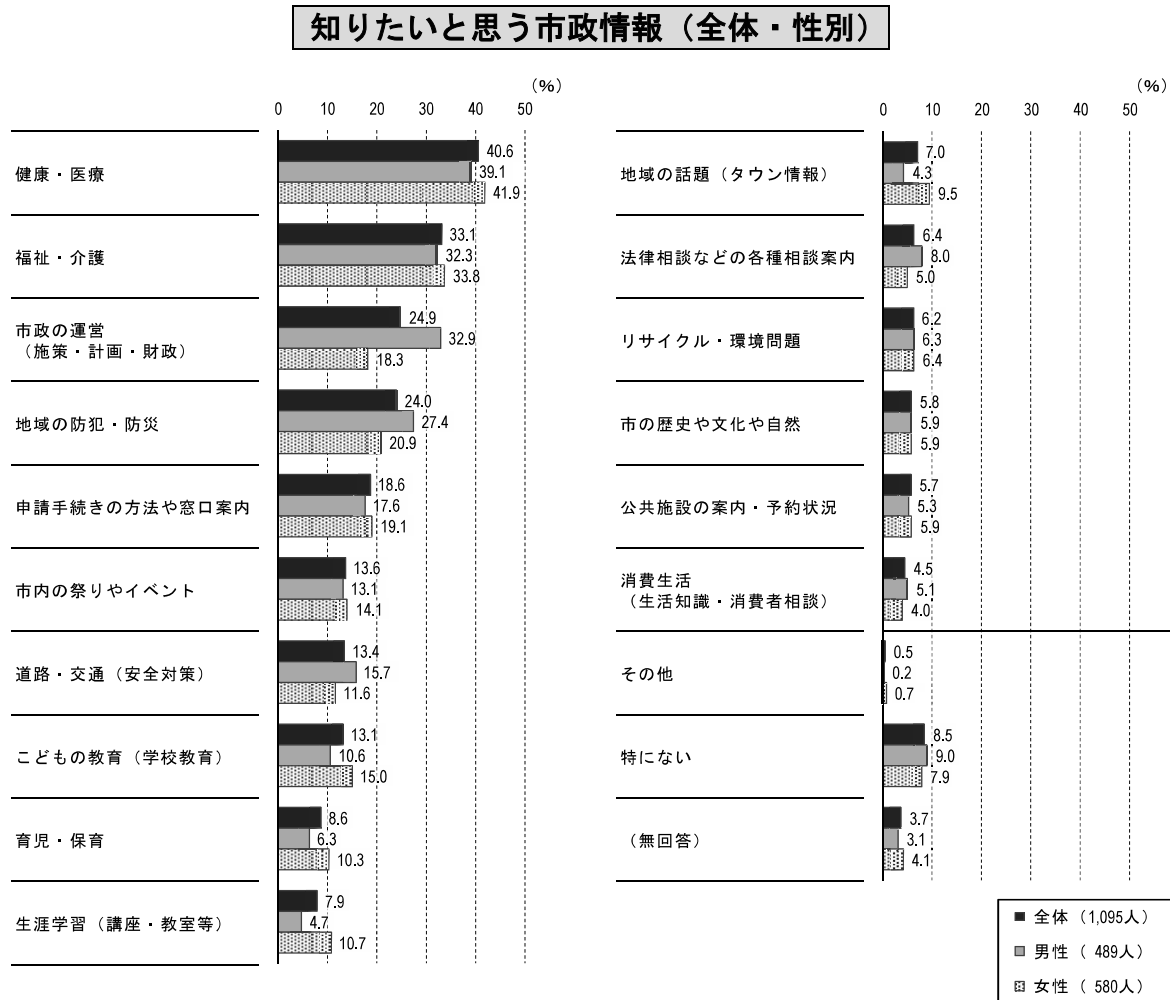


1 1 市政情報について

1 1-1 知りたいと思う市政情報

問27. あなたが知りたいと思う市政情報はどのようなものですか。【○は3つまで】

「健康・医療」40.6%、「福祉・介護」33.1%



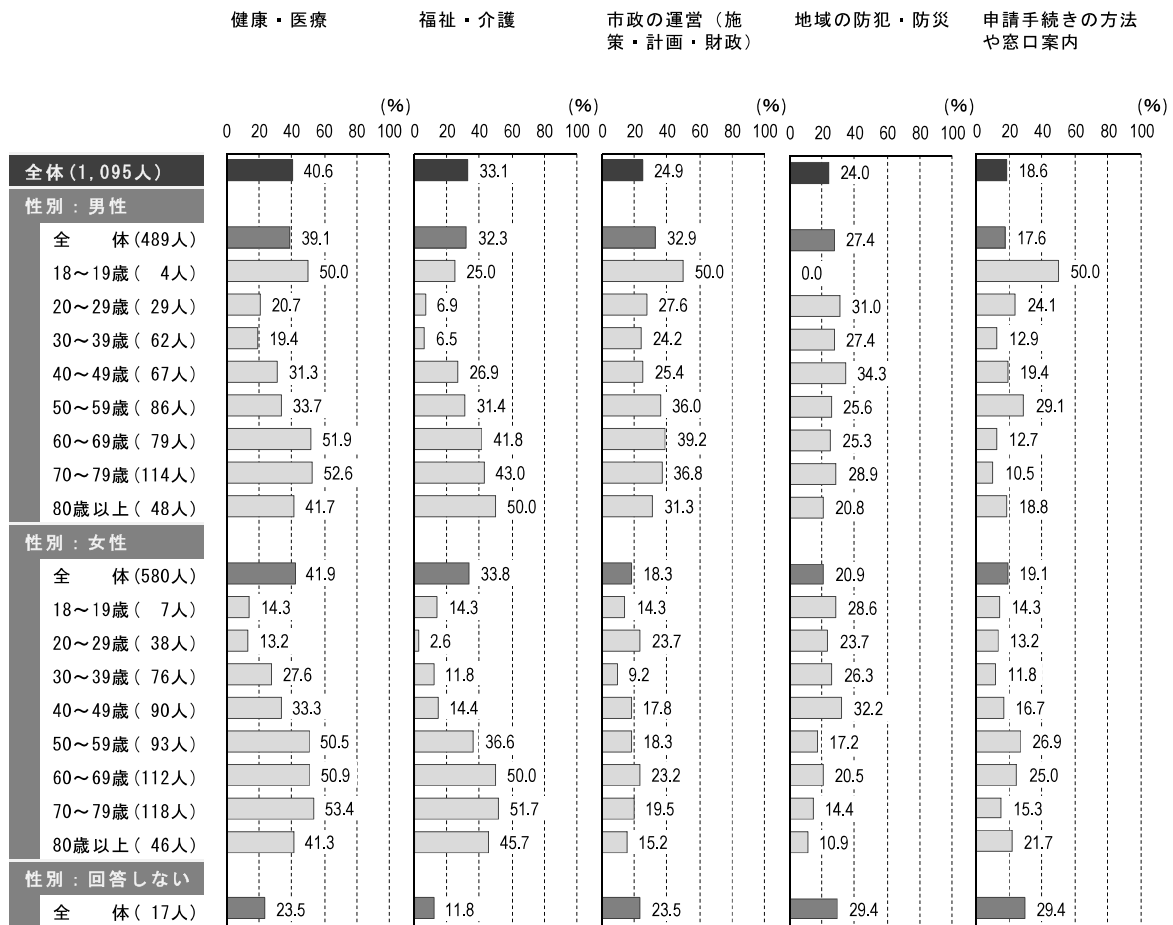
【全体】では、「健康・医療(40.6%)」の割合が4割強で最も高く、次いで「福祉・介護(33.1%)、市政の運営（施策・計画・財政）(24.9%)」が続いています。

【性別】では、男性は「健康・医療（39.1%）、市政の運営（施策・計画・財政）(32.9%)、福祉・介護（32.3%）」の順、女性は「健康・医療（41.9%）、福祉・介護（33.8%）、地域の防犯・防災（20.9%）」の順に高くなっています。

また、「市政の運営（施策・計画・財政）」は男性（32.9%）が女性（18.3%）より14.6ポイント、「地域の防犯・防災」は男性（27.4%）が女性（20.9%）より6.5ポイント高く差がみられます。

「こどもの教育（学校教育）、育児・保育、生涯学習（講座・教室等）、地域の話（タウン情報）」は女性が男性より高くなっています。

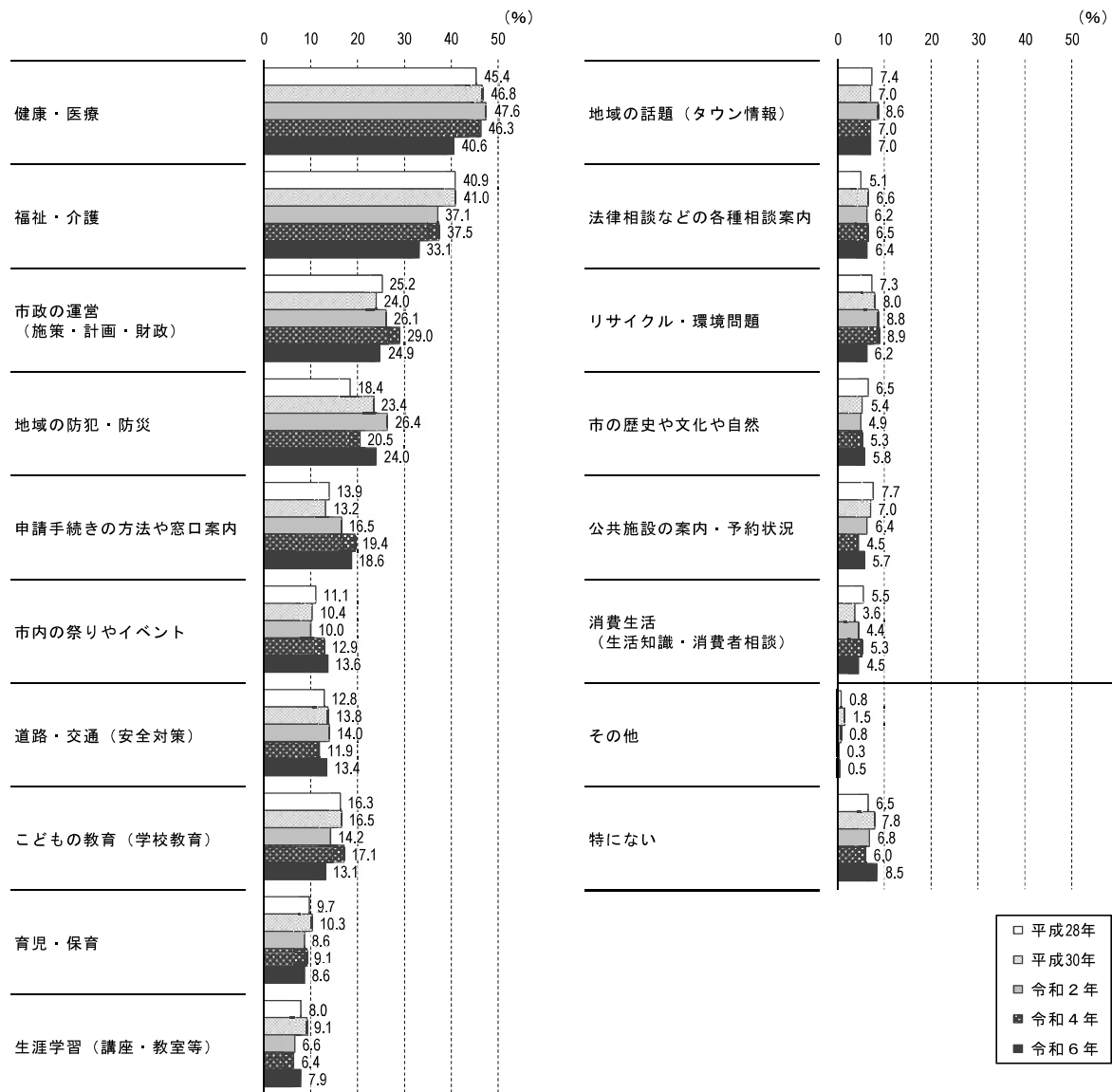
知りたいと思う市政情報（上位5項目：性別・年代別）



【性別・年代別】では、回答数の少ない「男性・18～19歳（4人）、女性・18～19歳（7人）」を除き、割合が【全体】より目立って高いものは「福祉・介護」の「女性・70～79歳（51.7%）、男性・80歳以上（50.0%）、女性・60～69歳（50.0%）」などとなっています。

また、「80歳以上」が下がるものもありますが、「健康・医療」の男女、「福祉・介護」の男女は、年代が上がるごとに割合が上昇する傾向がみられます。

知りたいと思う市政情報（経年比較）



【経年比較】では、直近5回の調査で「市内の祭りやイベント（13.6%）」は令和6年が最も高く、「健康・医療（40.6%）、福祉・介護（33.1%）、こどもの教育（学校教育）（13.1%）」など6項目で最も低くなっています。

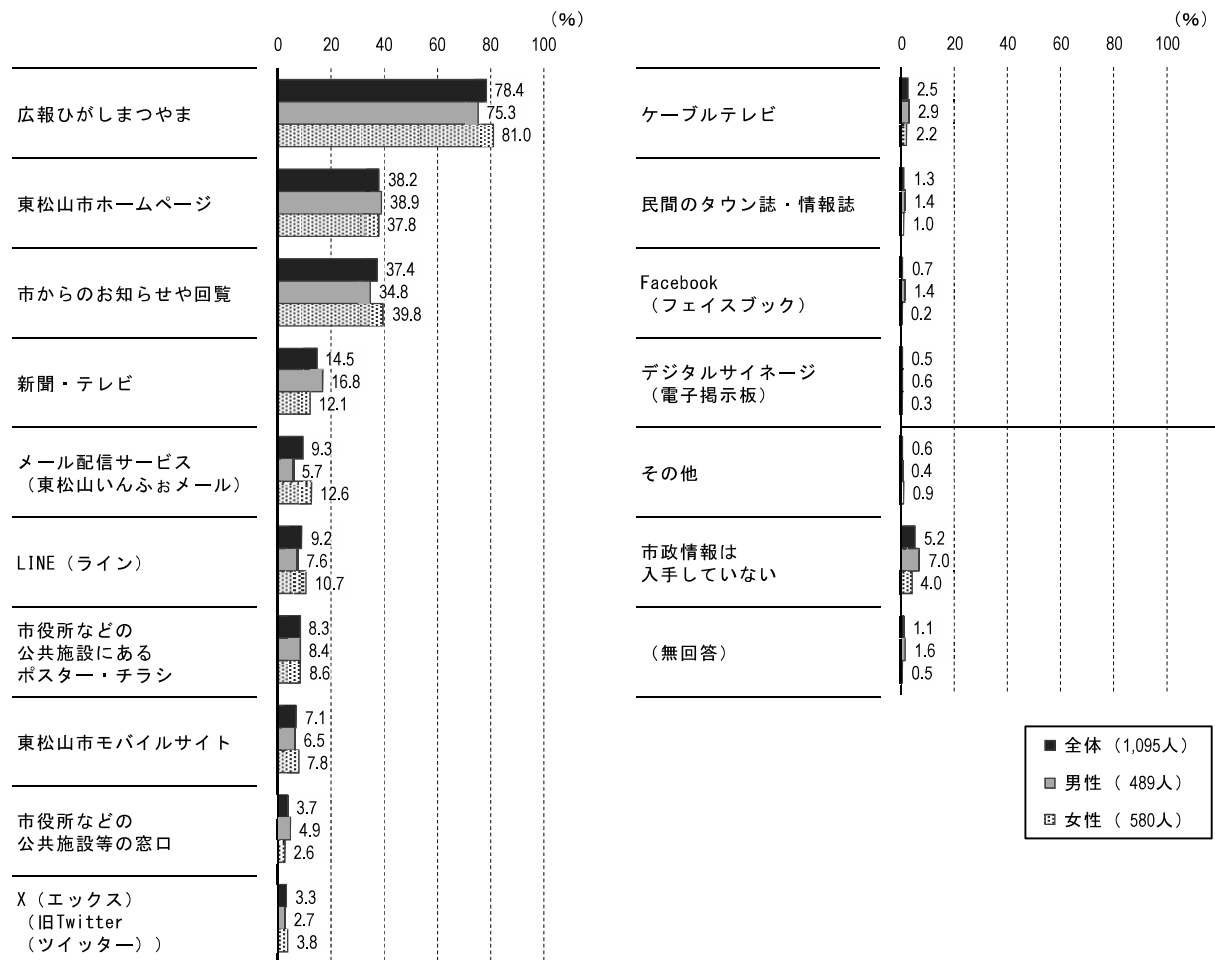
また、前回（令和4年）と比較して差がみられたのは、「健康・医療（40.6%）」が5.7ポイント低くなっています。「福祉・介護（33.1%）」は4.4ポイント低く、年を追うごとに割合が低下する傾向がみられます。

11-2 市政情報の入手方法

問28. あなたは、市政情報をどのような方法で入手していますか。【〇はいくつでも】

「広報ひがしまつやま」78.4%

市政情報の入手方法（全体・性別）

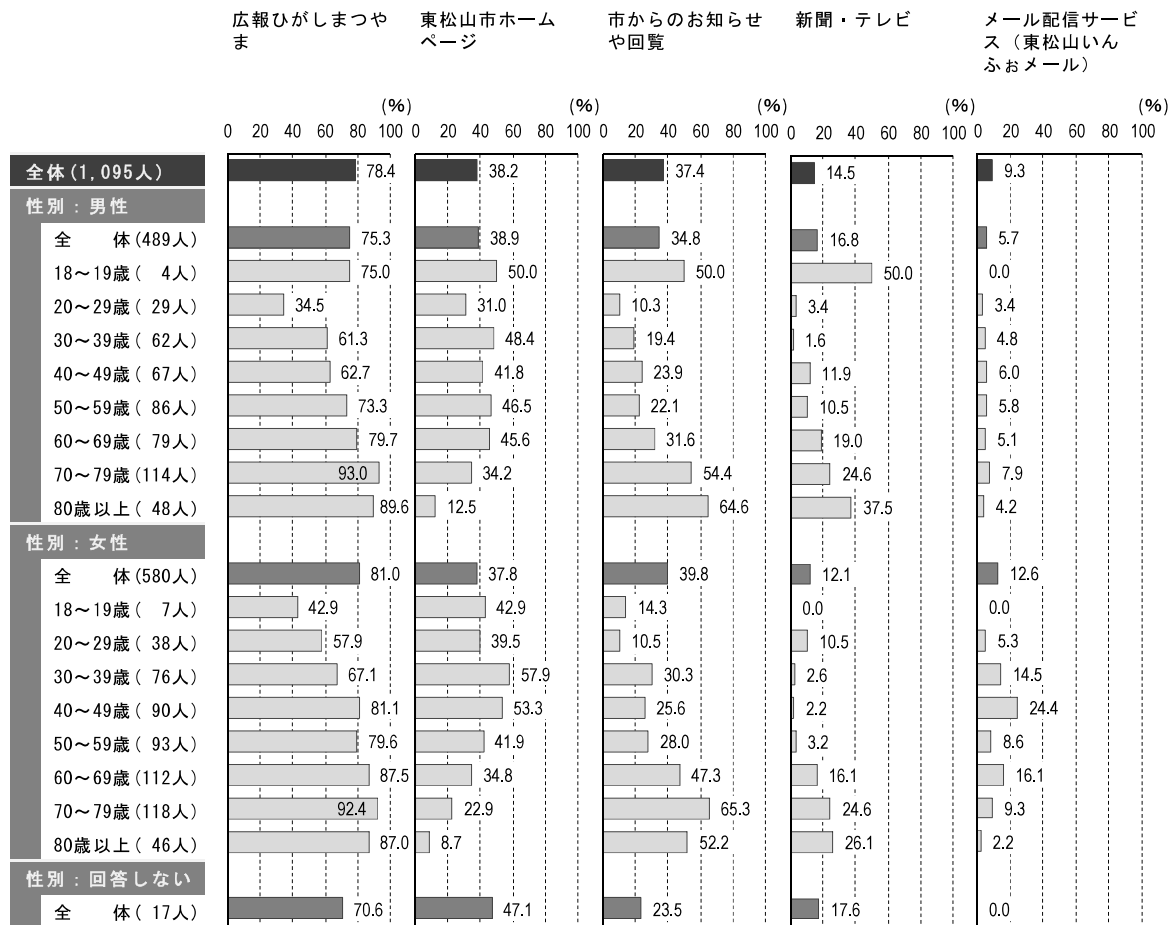


【全体】では、「広報ひがしまつやま（78.4%）」の割合が7割台で最も高く、次いで「東松山市ホームページ（38.2%）、市からのお知らせや回覧（37.4%）」が3割台が続いています。

【性別】では、女性は「広報ひがしまつやま（81.0%）、市からのお知らせや回覧（39.8%）、東松山市ホームページ（37.8%）」の順に高く、男性の上位3項目は【全体】と変わらず、割合は75.3%、38.9%、34.8%となっています。

また、「メール配信サービス（東松山いんふおメール）」は女性（12.6%）が男性（5.7%）より6.9ポイント、「広報ひがしまつやま」は女性（81.0%）が男性（75.3%）より5.7ポイント、「市からのお知らせや回覧」は女性（39.8%）が男性（34.8%）より5.0ポイント高く差がみられます。

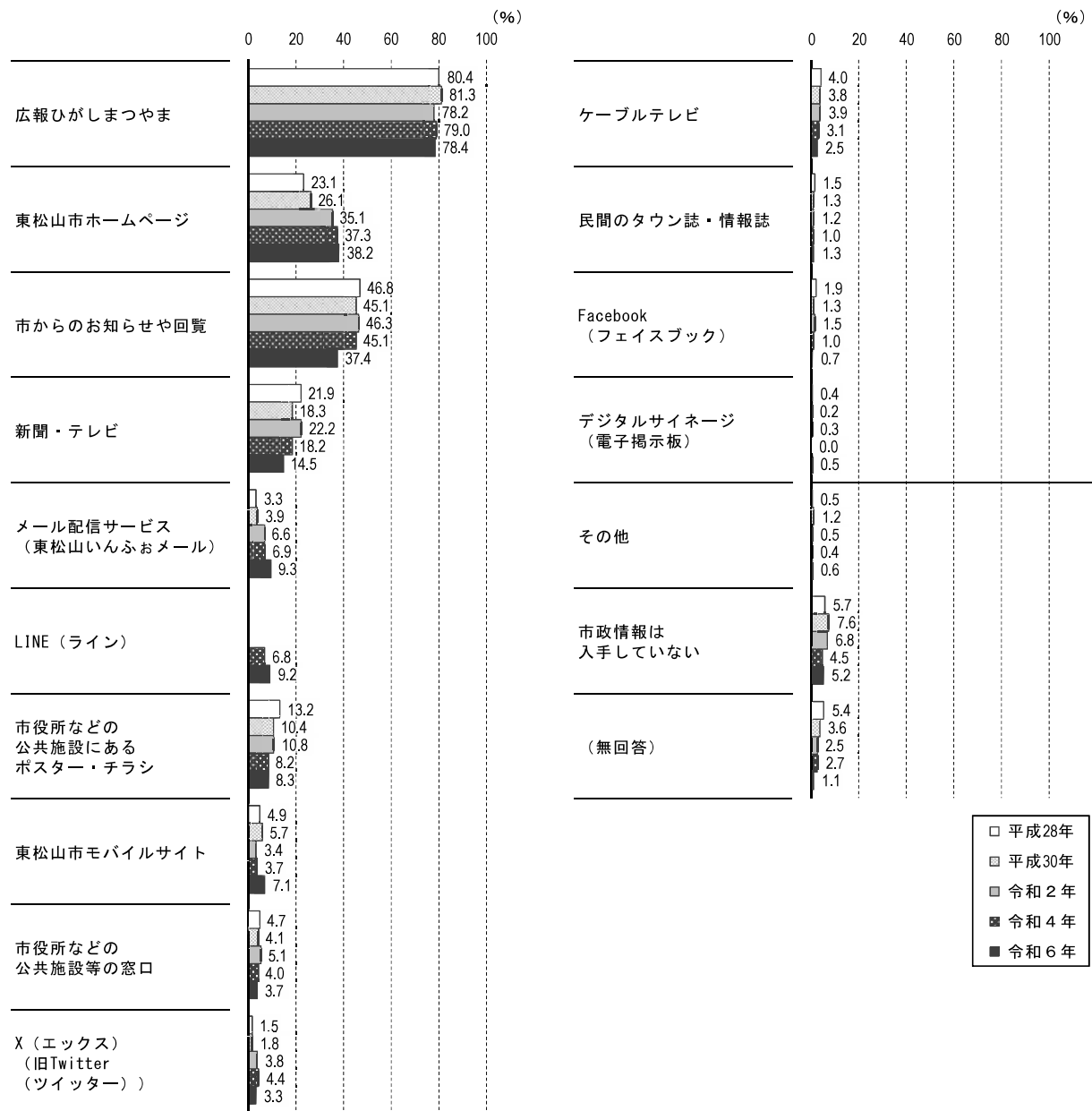
市政情報の入手方法（上位5項目：性別・年代別）



【性別・年代別】では、回答数の少ない「男性・18～19歳（4人）、女性・18～19歳（7人）」を除き、割合が【全体】より目立って高いものは「東松山市ホームページ」の「女性・30～39歳（57.9%）、女性・40～49歳（53.3%）」、「市からのお知らせや回覧」の「女性・70～79歳（65.3%）、男性・80歳以上（64.6%）、男性・70～79歳（54.4%）」、「新聞・テレビ」の「男性・80歳以上（37.5%）」、「メール配信サービス（東松山いんふおメール）」の「女性・40～49歳（24.4%）」などとなっています。

また、「広報ひがしまつやま、市からのお知らせや回覧、新聞・テレビ」から市政情報入手していると答えた男女は、年代が上がるごとに割合が上昇する傾向がみられます。

市政情報の入手方法（経年比較）



※「メール配信サービス（東松山いんふおメール）」は、平成30年度までは「メール配信サービス」となります。

※「LINE（ライン）」は、令和4年度からの選択肢となります。

※「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」、「テレビ埼玉データ放送」は、令和6年より選択肢から除外されました。

【経年比較】では、直近5回の調査で「東松山市ホームページ（38.2%）、メール配信サービス（東松山いんふおメール）（9.3%）」は令和6年が最も高く、年を追うごとに割合が上昇しています。一方、「市からのお知らせや回覧（37.4%）、新聞・テレビ（14.5%）、市役所などの公共施設等の窓口（3.7%）」など5項目で最も低くなっています。

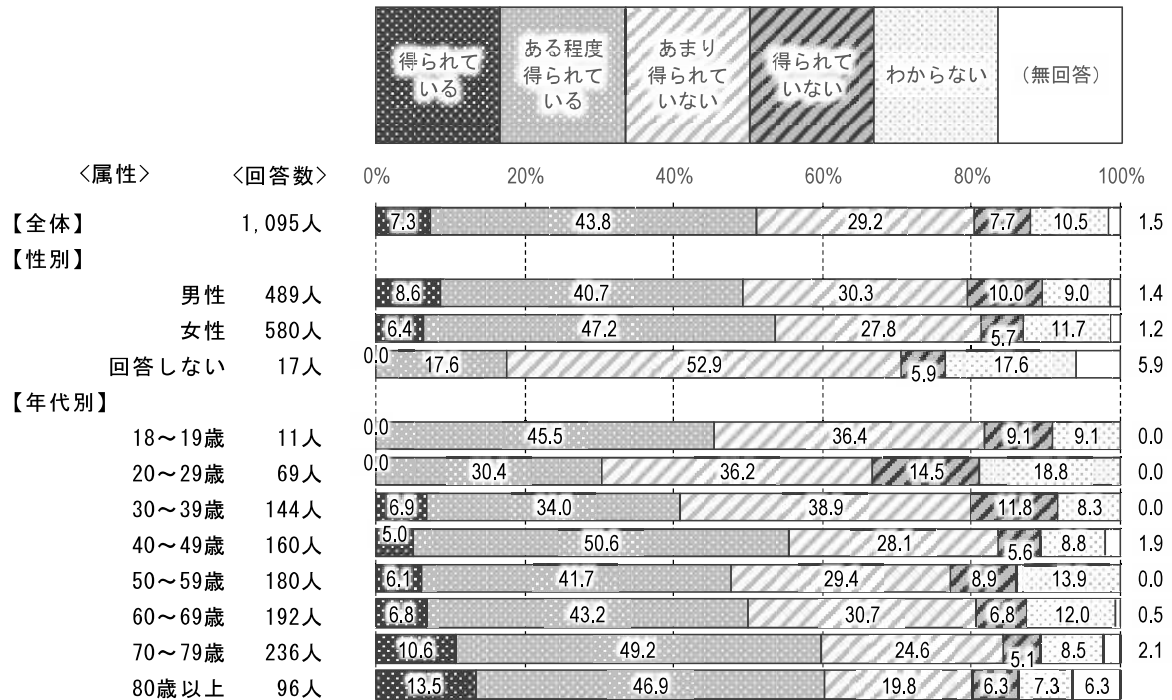
また、前回（令和4年）と比較して差がみられたのは、「市からのお知らせや回覧（37.4%）」が7.7ポイント低くなっています。

11-3 市政情報の取得状況

問29. あなたは現在、東松山市の市政情報を得られていると思いますか。【〇は1つ】

『情報を得られている』51.1%、『情報を得られていない』36.9%

市政情報の取得状況



「得られている」と「ある程度得られている」を合わせて『情報を得られている』、「得られていない」と「あまり得られていない」を合わせて『情報を得られていない』とします。

【全体】では、『情報を得られている (51.1%)』が5割台、『情報を得られていない (36.9%)』が3割台となっています。

【性別】では、『情報を得られている』は女性 (53.6%) が男性 (49.3%) より4.3ポイント高くなっていますが、「得られている」は男性 (8.6%) が女性 (6.4%) より2.2ポイント高くなっています。

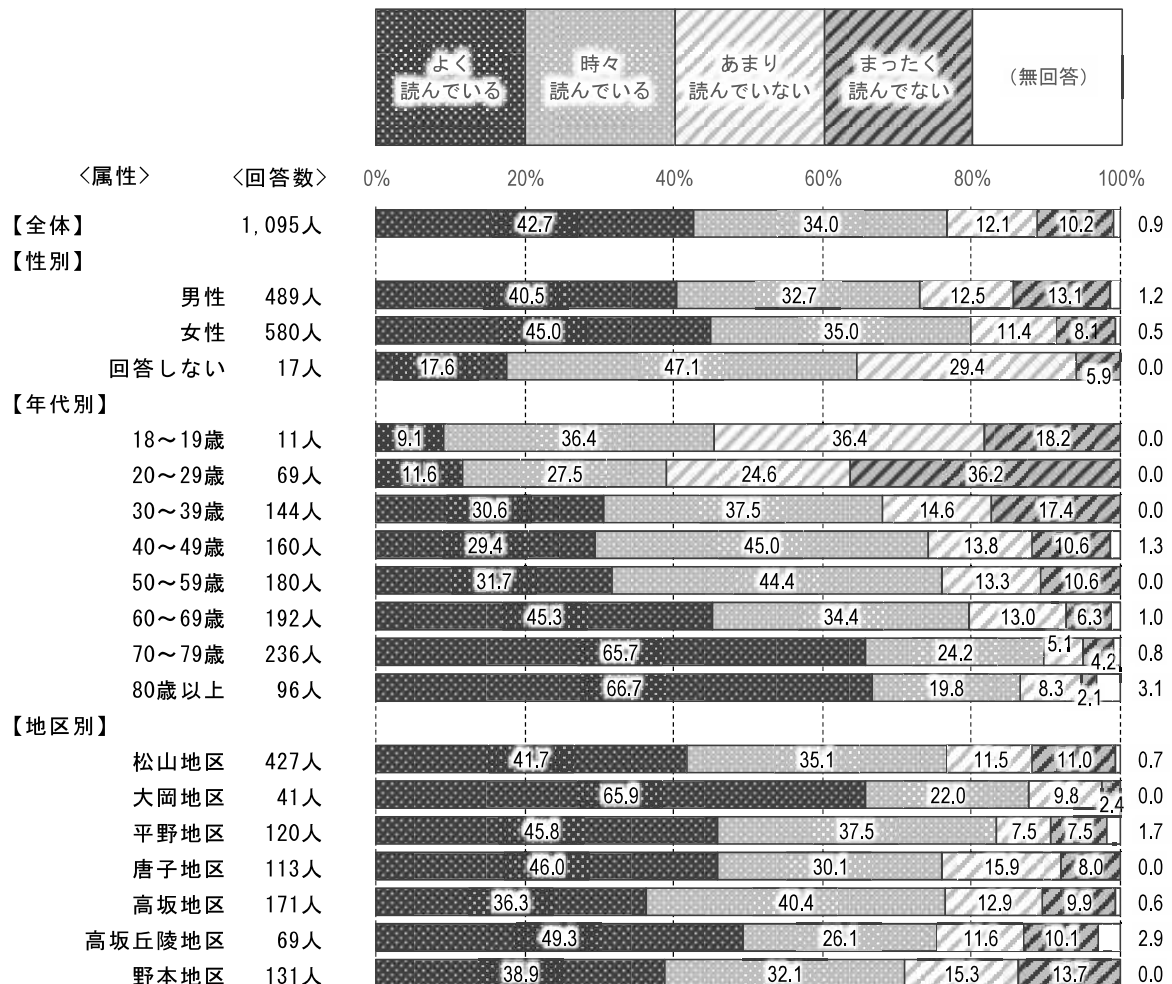
【年代別】では、「20～29歳、30～39歳」は『情報を得られていない』が『情報を得られている』を上回り、40歳以上になると『情報が得られている』が『情報が得られていない』を上回り、年代が上がるごとに『情報が得られている』の割合が上昇する傾向がみられます。

11-4 広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況

問30. あなたは、広報紙「広報ひがしまつやま」を読んでいますか。【○は1つ】

『読んでいる』76.7%、『読んでいない』22.3%

広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況



「よく読んでいる」と「時々読んでいる」を合わせて『読んでいる』、「まったく読んでいない」と「あまり読んでいない」を合わせて『読んでいない』とします。

【全体】では、『読んでいる（76.7%）』が7割台、『読んでいない（22.3%）』が2割台となっています。

【性別】では、『読んでいる』は女性（80.0%）が男性（73.2%）より6.8ポイント高くなっています。

【年代別】では、年代が上がるごとに『読んでいる』の割合が上昇する傾向がみられ、30歳以上になると6割を超え、「70～79歳（89.9%）」が9割弱で最も高くなっています。

また、「まったく読んでいない」は「20～29歳（36.2%）」が突出しています。

【地区別】では、『読んでいる』は「大岡地区（87.9%）、平野地区（83.3%）」が8割台と高く、「よく読んでいる」は「大岡地区（65.9%）」が6割台で最も高くなっています。

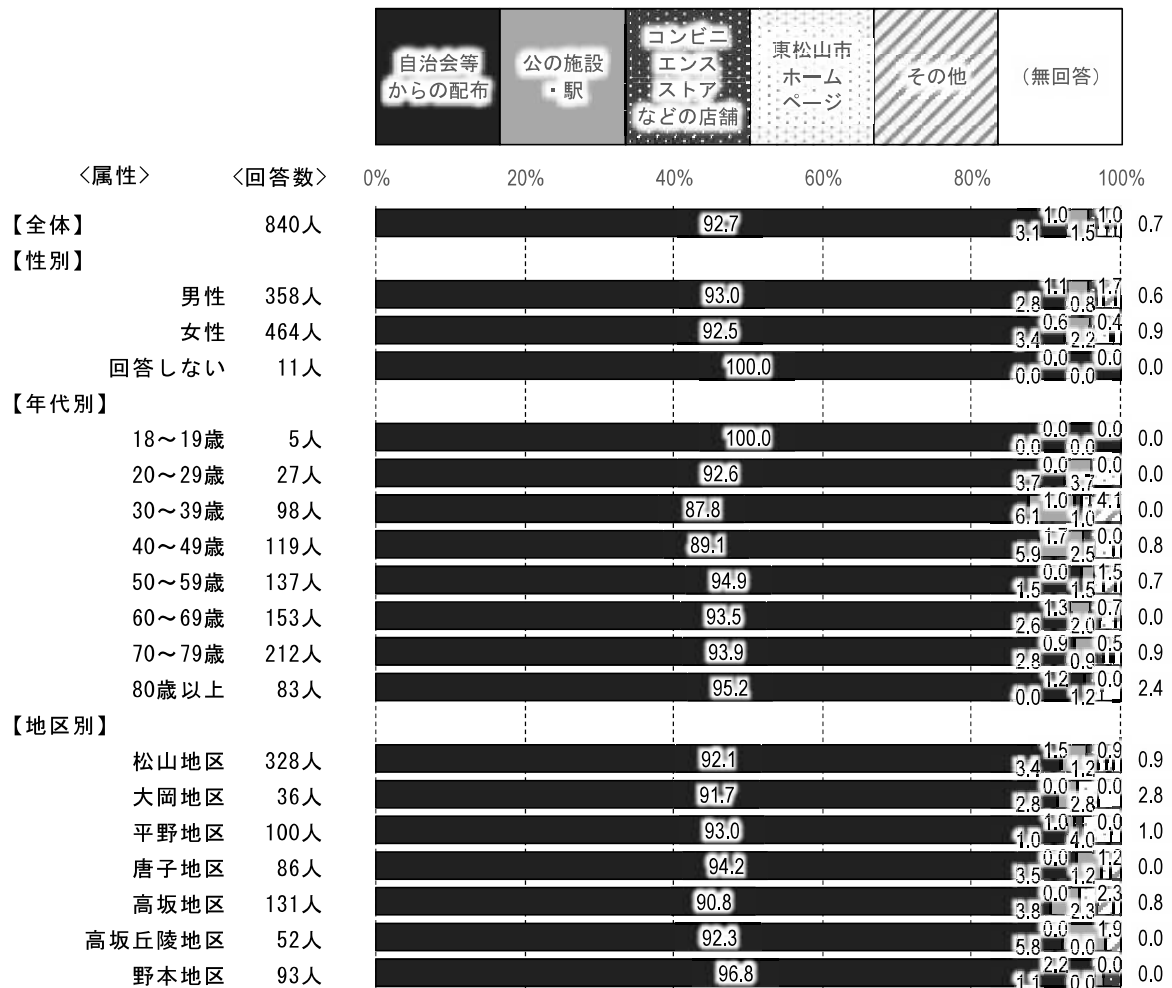
11-5 広報紙「広報ひがしまつやま」の入手方法

(問30で「よく読んでいます」または「時々読んでいます」とお答えの方におたずねします。)

問30-1.「広報ひがしまつやま」を主にどのように入手していますか。【〇は1つ】

「自治会等からの配布」92.7%

広報紙「広報ひがしまつやま」の入手方法



【全体】では、「自治会等からの配布（92.7%）」が9割台で最も高く、属性別でも全て8割を超えています。

属性別で「自治会等からの配布」を除き、割合が5.0%以上のものは「公の施設・駅」における【年代別】の「30～39歳（6.1%）、40～49歳（5.9%）」、【地区別】の「高坂丘陵地区（5.8%）」だけとなっています。

11-6 広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由

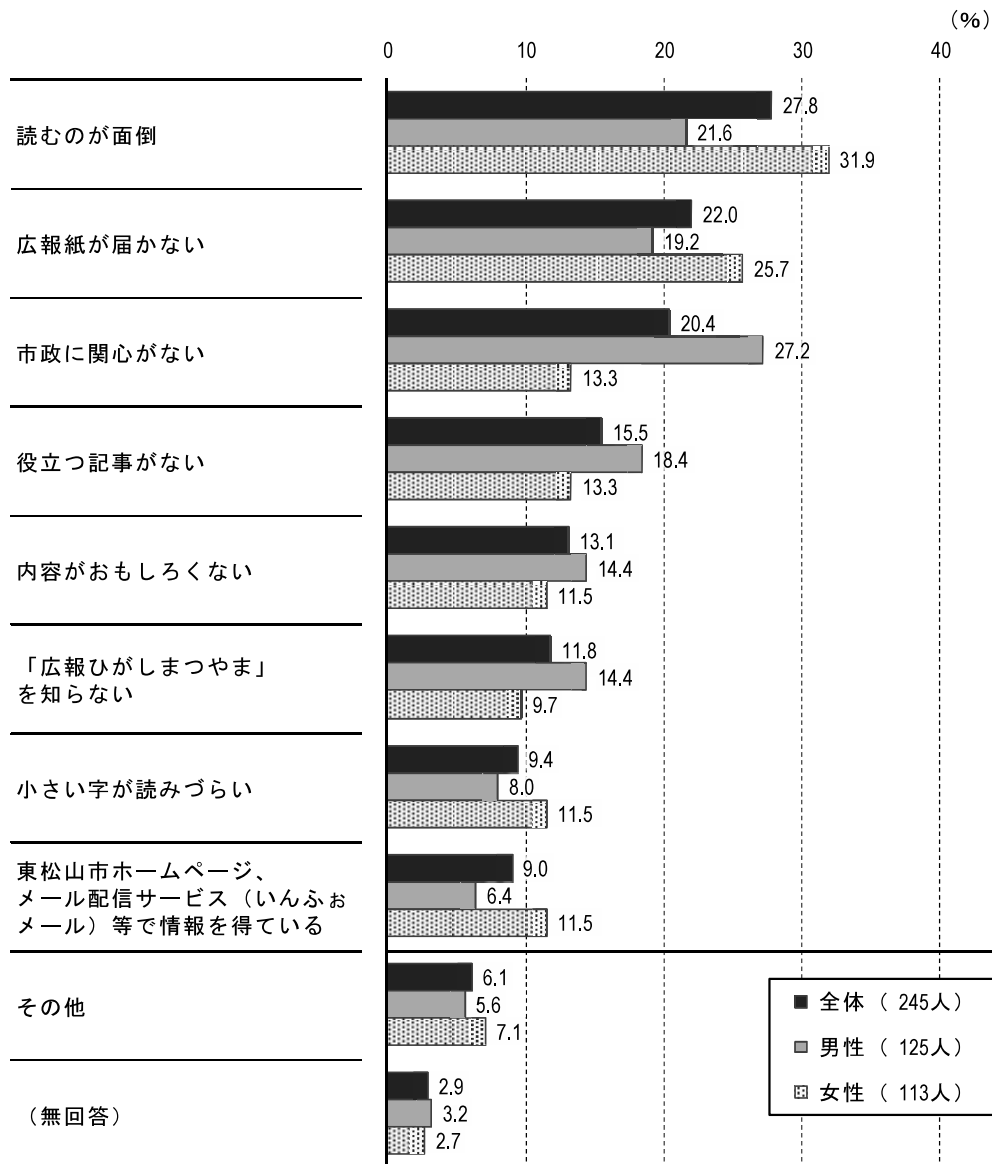
(問30で「あまり読んでいない」または「まったく読んでいない」とお答えの方におたずねします。)

問30-2.「広報ひがしまつやま」を読まないのはどのような理由からですか。

【〇はいくつでも】

「読むのが面倒」27.8%、「広報紙が届かない」22.0%

広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由（全体・性別）

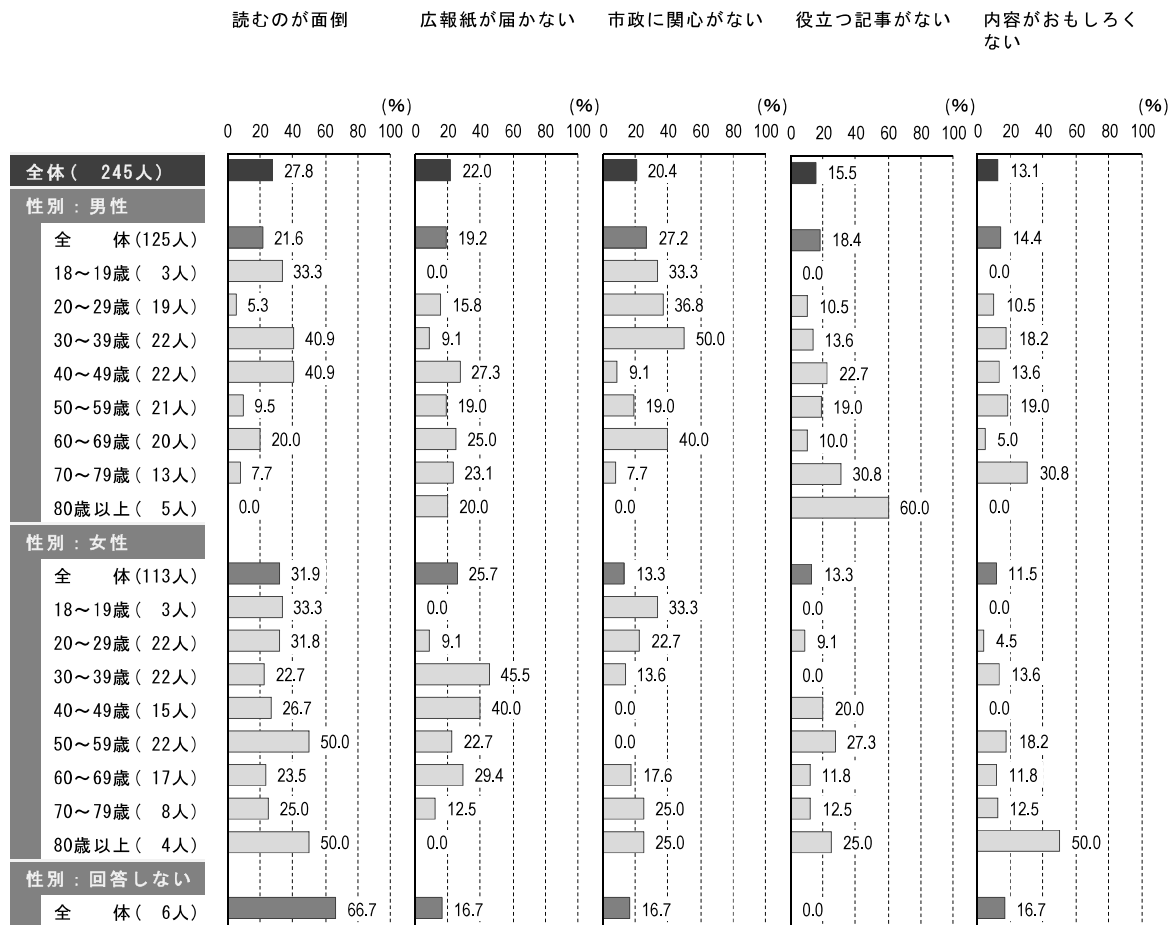


【全体】では、「読むのが面倒（27.8%）」の割合が2割台で最も高く、次いで「広報紙が届かない（22.0%）」が続いています。

【性別】では、男性は「市政に関心がない（27.2%）」、「読むのが面倒（21.6%）」、「広報紙が届かない（19.2%）」の順に高く、女性の上位3項目は【全体】と変わらず、割合は31.9%、25.7%、13.3%となっています。

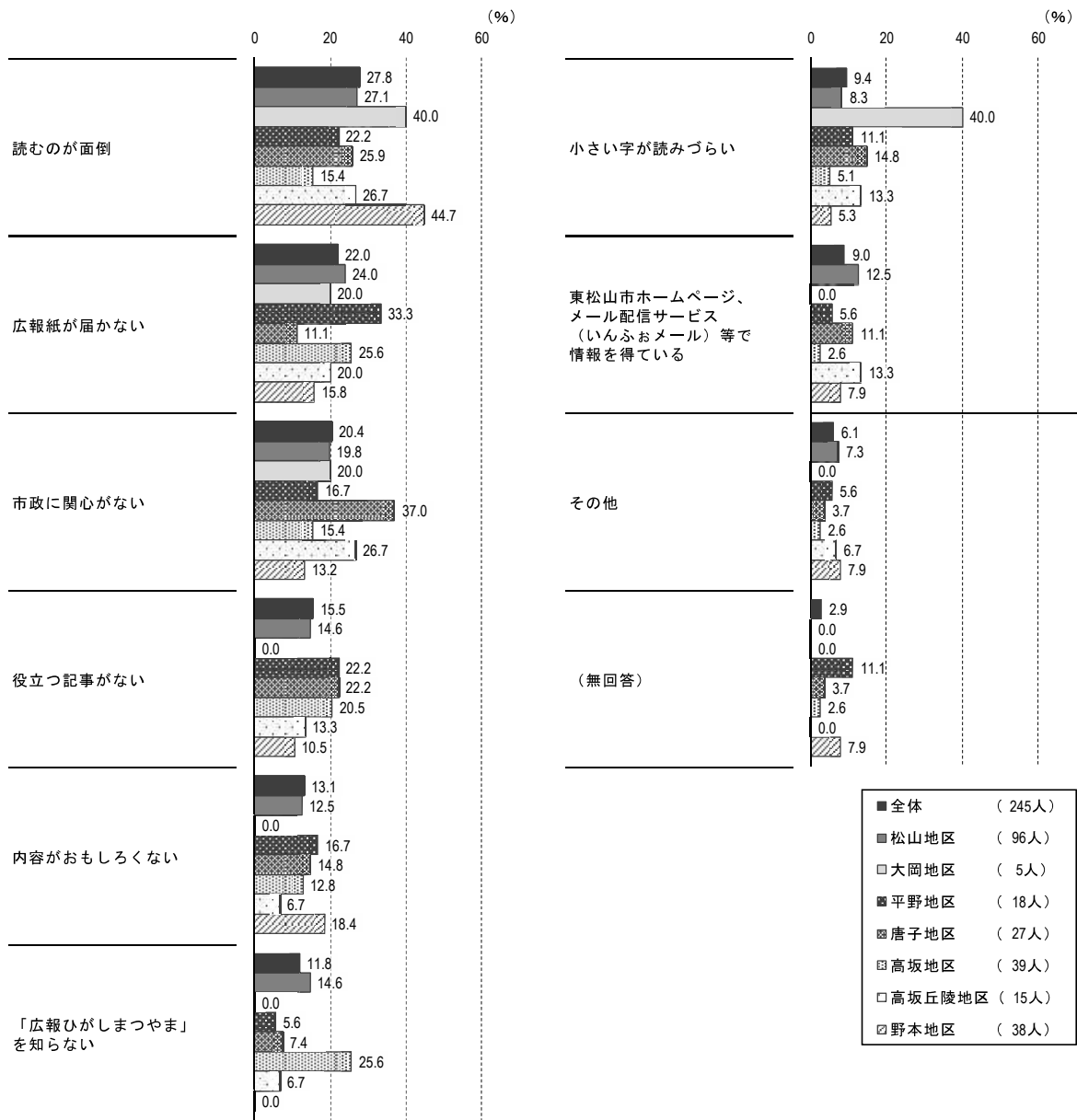
また、「市政に関心がない」は男性（27.2%）が女性（13.3%）より13.9ポイント、「読むのが面倒」は女性（31.9%）が男性（21.6%）より10.3ポイント高く差がみられます。

広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由（上位5項目：性別・年代別）



【性別・年代別】では、回答数の少ない「男性・18～19歳（3人）、女性・18～19歳（3人）、男性・80歳以上（5人）、女性・80歳以上（4人）」を除き、割合が【全体】より目立って高いものは「読むのが面倒」の「女性・50～59歳（50.0%）」、「広報紙が届かない」の「女性・30～39歳（45.5%）」、「市政に関心がない」の「男性・30～39歳（50.0%）」などとなっています。

広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由（地区別）



【地区別】では、回答数が少ない「大岡地区（5人）」を除き、「読むのが面倒」の「野本地区（44.7%）」、「広報紙が届かない」の「平野地区（33.3%）」、「市政に関心がない」の「唐子地区（37.0%）」、「「広報ひがしまつやま」を知らない」の「高坂地区（25.6%）」などが他の地区に比べて割合が高くなっています。